SHieldMailChecker v1.8 新機能

多くのお客様からご要望をいただいていた、添付ファイルの取り違えを防ぐ確認機能や、社外メンバーが含まれるメーリングリストへの送信時の確認機能を追加しました。
これらの機能強化により、従来以上にメール送信時の「うっかりミス」によるメール誤送信防止対策のさらなる強化を実現します。

添付ファイル確認機能

- 添付ファイル名を一覧表示、その場で開いて内容確認可
  - 拡張子の関連付けでオープン
  - 開けないファイル(例：xxxxx.ex_)は、フォルダを開いて確認
- 添付ファイル確認(オープン)を強制可能
  - リスト表示
    一覧表示されるだけで、チェックは不要、オープンも任意
  - チェックボックス表示(非強制)
    チェック必須だが、オープンは任意
  - チェックボックス表示(強制)
    チェック必須、かつ、オープンしないとチェックできない
- 添付ファイルサイズ(合計)による制限可
  - 警告例 → 添付ファイルサイズ合計が、1MBを超えています。

メーリングリスト確認機能

- 背景
  - MLに社外宛先を含むかどうかわかりにくく、誤送信も多い
  - 一般的に、管理者でないとMLメンバの確認はできない
  - ドメインからはMLであることを区別できない場合も多い
- 命名規約があれば、判別可能
  - 命名規約例 → SHieldMailCheckerのポリシールールに正規表現で指定
    社外含む： ml-xxxxxxxx-ext@hogehoge.co.jp
    社内のみ： ml-xxxxxxxx-int@hogehoge.co.jp
- SHieldMailCheckerでの運用例
  - 社内宛のみのメールは、確認画面を表示せず送信 → 社外含むML宛の場合は、確認画面を表示する
  - MLは、宛先確認欄に注意表記 → 社外含むML/社内のみMLで、注意表記を変える

その他の主な強化機能

- 本文確認機能
  - 目視で、宛先との対応チェックが可能
- 解析処理改善
  - 引用文を解析対象に含めないオプションを追加し、警告精度向上
    → 「添付忘れ」警告が、返信メールにも繰り返し表示されることを防ぐ、等
- 性能改善
  - 新機能を追加しながらも、従来と同等のレスポンスを実現
- インストーラ改善
  - コマンド方式によるインストール(サイレントインストール)をサポート → 大量のクライアントへの展開を効率化

お問い合わせ先
株式会社富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ（富士通SSL）
お問い合わせ総合窓口
〒211-0063 川崎市中原区小杉町1 - 403 武蔵小杉タワープレイス
E-mail : ssl-info@cs.jp.fujitsu.com　ＴＥＬ：044-739-1251　当社ホームページ http://www.ssl.fujitsu.com